



連携室通信

発行：公益財団法人 老年病研究所附属病院 ISO9001 認証取得 日本医療機能評価機構認定病院

老年病研究所附属病院の理念

1. 地域の人々の健康を守るための、研究と実践
2. 疾病の予防と治療に役立つ看護、介護の推進
3. 高齢社会における保健・医療・福祉のネットワーク作り

老年病研究所附属病院の基本方針

1. 質の高い安全な医療の提供
2. 多職種によるチーム医療の実践
3. 職員教育の充実
4. 病院経営の安定
5. 新型コロナウイルス感染対策の徹底

訪問看護ステーション ひまわりのご紹介

看護主任 萩原 幸子

当ステーションは、専属の看護師 6 名と老年病研究所附属病院と兼務の理学療法士 4 名、作業療法士 4 名で活動しています。

ご利用回数は月 1 回の方から週 5 回、状況に応じては毎日の方もいます。1 回のご利用時間は 30 分未満から 90 分以上と様々です。緊急時に関しては 365 日、24 時間対応をしています。

コロナ禍の訪問看護で、在宅で感染を予防し安全に看護を提供するためにどのような方法がよいか悩む場面もありますが、病院の感染対策委員と情報を共有しながら感染予防に努めています。ご利用者様とご家族様にも、いつも以上に体調管理に配慮していただき、ご利用中はご自宅でマスクをつけていただくなどご協力をいただいています。

先日あるご利用者様から「人薬」というお話を聞かせていただきました。「訪問看護を利用して始めてなんとなく調子がいいんです。人と会うことで元気になる。こういうのを人薬というんですって」と。人と会うことで心が落ち着いたり、元気が出たり誰でも経験のあることだと思います。

今、感染予防の面から、会いたい人になかなか会えない状況が続いています。このような状況下で私たちは、訪問の時間を大切に、ご利用の皆様へ少しでも安心していただける訪問看護を提供したいと改めて感じました。

—ご利用できる地域—

前橋市、高崎市、吉岡町、榛東村などおよそ半径 10km を目安にご利用いただいています。それ以外の地域の方もご相談させていただきます。

—こんなお手伝いをしています—

- ・体調管理、心配事の相談、介護方法の相談助言、緊急時の対応
- ・日常生活のケア（食事、排泄、清潔保持等）
- ・傷や褥瘡の予防および処置
- ・服薬管理
- ・点滴、人工呼吸器、カテーテル類等の管理など医療的ケア
- ・リハビリテーション
- ・お看取り
- ・医師等の医療スタッフ、ケアマネジャー等の他サービス関係機関との連絡調整など

—お問い合わせ先—

電話：027-252-3305（直通）

FAX：027-253-8222



最近、暗い場所でも自信をもって歩けますか？

リハビリテーション部 中條 浩樹

■暗闇で物を見る能力—暗順応—

自動車に乗っていて長いトンネルから出た瞬間、強い日の光に目が眩んで辺りが見えなくなる場合があります。しかしそれはほんの数秒のことで、またすぐに見えるようになりますね。これは明順応と呼ばれる眼の働きです。そしてこの逆、明るい場所から暗い場所に移った時の眼の調節機能を暗順応といいます。この2つの機能のおかげで、私たちは常に明るすぎず暗すぎず、最適な視界を確保することができます。

ただしこの機能は加齢と共に衰えます。そして夜間に起こる転倒事故には、この2つの機能、特に暗順応の衰えが少なからず関わっているのです。このコラムでは生活における暗順応の衰えに対応した生活環境整備のポイントなどについてお話します。

■若年層でも明順応は1分、暗順応は1時間もかかります

明順応・暗順応は2種類の視細胞の優先度を切り替えて眼の光感度を調節することで行われます。そしてその切り替えにはロドプシンという化学物質の分解と合成を用いるのですが、ロドプシンの分解によって起こる明順応に比べ、暗順応の際のロドプシンの合成の方が多くの時間を必要とすることが暗順応に長い時間がかかる原因となっています。

暗順応が長い時間を必要とすることは日常生活において、夜に寝るときに部屋の電気を消してからベッドに入る時に問題となってきます。私たちは電気を消してベッドへ向かう際、「多分このへんにベッドがあるんだろうな」という推測のもと歩いていきます。しかし当然、暗闇の中を手探りで進むわけですから、身体をどこかにぶつけたり転倒したりする危険があります。

■自宅での転倒対策について

暗順応による転倒事故の危険を減らす方法は、それほど難しくありません。まず1つ目は、単純にベッドに入るまで電気を点けて明るくしておくことです。最近リモコン式の電灯もありますし、見た目を気にしなければ電灯の紐を枕元まで延長するのもいいでしょう。とにかく暗闇で歩くという状況を無くしてしまえば、それが原因で転倒することはありません。

もう1つの方法は、部屋に間接照明を置く事です。間接照明とは、天井に設置するメインの電灯の他に足元近くに設置する補助電灯のことで、暖色系の柔らかな光が用いられることが多いです。間接照明は壁に直接設置する方法もありますし、電気スタンドのような独立した電源を床に置いてOKです。部屋の電気を消しても間接照明により足元が優しく照らされるため、転倒の危険が減るといえます。

間接照明を用いる方法には他にもメリットがあります。間接照明の柔らかい光は暗順応した眼にも優しく、眼が眩むことはありません。また部屋の電気を点ける前に、間接照明で明順応をある程度進めておくことができるので、いざ電気がついたときの刺激に耐える用意ができます。

他にも暗順応の遅延への対策として、ロドプシンの合成を促進する物質があります。それはアントシアニンとビタミンAです（一般的に眼に良いとされる物質ですね）。ブルーベリーなどの食品に多く含まれていますし、サプリメントとして薬局などでも売っています。試してみれば暗順応の時間が早くなるかもしれません。

お知らせ

受診する際のお願い

発熱、せき・息切れ、倦怠感、味覚障害などの症状がある方は、必ず事前に電話連絡をお願いします。

☎027-253-3311 (代表)

入院患者さまの面会禁止について

新型コロナウイルス感染症の感染予防のため、入院患者さまとの面会を禁止しております。皆さまのご理解とご協力をお願いします。

以下のような場合、受付にお声をかけてください。

- ・入院患者さまが重症、急変、危篤状態で面会をする
- ・ケアマネジャー、他施設職員、医療業者等が患者状態確認の必要がある
- ・医師より病状説明、治療方針の説明がある
- ・洗濯物、オムツの受け渡しを行う（病棟エレベーター前で対応）
- ・転棟時の書類記載等の手続を行う
- ・退院時の退院手続きを行う



花名：レインボーガーベラ
花言葉：希望、チャレンジ
撮影者：松原信子様

病院の出入り口について

全ての来院者の体温を測定するために、出入り口を正面玄関のみとしております。入院患者さまや外来患者さまの安全を確保するため、ご理解とご協力をお願いします。

来院の際はマスクの着用と手指消毒をお願いします。

お問い合わせ、相談窓口のご案内

医療機関さまへ

急患のご相談、再診予約の変更・キャンセル

➔ 医事課（北棟1階）

☎027-253-3311

初診の患者さまの診察予約

➔ 地域医療福祉連携室（西棟1階）

☎027-253-4108（直通）

医療機関さま、患者さまへ

認知症に関してのご相談と鑑別診断について

➔ 認知症疾患医療センター（西棟1階）

☎027-252-7811（直通）

老人保健施設への入所、通所について

➔ 群馬老人保健センター陽光苑（西棟2、3、4階）

☎027-253-3310（直通）

グループホームへの入所について

➔ グループホームひまわり（病院南隣り）

☎027-253-3322

患者さまへ

退院後の生活、身体障害者手帳、障害年金、介護保険、医療費などの医療福祉相談

➔ 地域医療福祉連携室・相談室（西棟1階）

☎027-253-4108（直通）

人間ドックのお問い合わせ、ご予約

➔ ドックセンター（新館2階）

☎027-253-5174（直通）

さわやか健診のお問い合わせ

➔ 医事課（北棟1階）

☎027-253-3311

介護保険の利用に関するご相談

➔ ケアプランセンター老研（病院南隣り）

☎027-253-3398（直通）

訪問看護についてのご相談

➔ 訪問看護ステーションひまわり（新館1階）

☎027-252-3305

受付時間

午前8:30~11:30まで / 午後1:30~4:00まで (土曜の受付は11:00まで)

※急患は24時間受付しております
 ※禁煙外来は初診のみで再診は内科外来で行います

外来診療表

第2・第4土曜日休診
 ※歯科口腔外科は第2・第4土曜も診察しています

令和3年5月19日

診療科目	曜日 時間帯	月	火	水	木	金	土
		内科	午前	高玉 真光 合田 史	高玉 真光 合田 史 小池 陽子(9:00~)	高玉 真光 勝山 彰	高玉 真光 勝山 彰 直田 匡彦
	午後		小池 陽子(14:00まで)				
禁煙外来	午前			勝山 彰(完全予約制)	勝山 彰(完全予約制)	勝山 彰(完全予約制)	
脳神経内科	午前	岡本 幸市 東海林 幹夫 菅原 隆	岡本 幸市 東海林 幹夫 甘利 雅邦	岡本 幸市 東海林 幹夫 甘利 雅邦	岡本 幸市 瓦林 毅 橋本 健太郎	岡本 幸市 池田 将樹	岡 大典(第1.5) 岩崎 理(第3)
	午後	岩崎 理	岡 大典	山内 洋子(15:30まで)	甘利 雅邦(完全予約制 14:00まで) 菅原 隆 橋本 健太郎	池田 将樹(15:30まで)	
物忘れ外来(神経内科)	午後			山口 晴保(完全予約制)			
循環器内科	午前		天野 晶夫	天野 晶夫	天野 晶夫	天野 晶夫	天野 晶夫
循環器内科(不整脈外来)	午前						田村 峻太郎
脳神経外科	午前	1診:内藤 功 2診:岩井 丈幸	高玉 真	1診:内藤 功 2診:高玉 真	1診:内藤 功 2診:岩井 丈幸	1診:宮本 直子 2診:内藤 功	1診:高玉 真 2診:宮本 直子
	午後		岩井 丈幸(15:00まで)	岩井 丈幸(15:00まで)			
整形外科	午前	佐藤 圭司 加藤 良衛	島田 晴彦 柳橋 淳子(9:30まで)	佐藤 圭司 館野 勝彦	佐藤 圭司(10:30まで) 加藤 良衛	館野 勝彦 島田 晴彦	佐藤 圭司(第1) 島田 晴彦(第1.5) 館野 勝彦(第3.5) 加藤 良衛(第3)
	午後	加藤 良衛 柳橋 淳子		館野 勝彦 柳橋 淳子	柳橋 淳子	島田 晴彦	
眼科	午前	高玉 篤	高玉 篤	高玉 篤	高玉 篤	高玉 篤 遠藤 朝美	高玉 篤
	午後		高玉 篤	高玉 篤(両週)	高玉 篤		
皮膚科	午前	森本 奈緒子	森本 奈緒子		森本 奈緒子	森本 奈緒子	
泌尿器外来	午前	矢嶋 久徳		一ノ瀬 義雄			
	午後	矢嶋 久徳					
漢方外来(内科)	午前				古川 和美		
高血圧外来	午前	中村 哲也	中村 哲也				
糖尿病外来	午前		中村 保子				中村 保子
	午後					中村 保子	
内視鏡	午前			山田 拓郎(第2.4)(両)		乾 正幸(両)	
	午後					乾 正幸(大腸)	
麻酔科	午前	増田 裕一		増田 裕一(10:30まで)		佐藤 美恵	
睡眠時無呼吸外来	午前					山口 彩(第2.4) (完全予約制9:00~11:30)	
リハビリテーション科	午後				神宮 俊哉		
腎臓リウマチ内科	午後		群大非常勤(第1) 今井 陽一(第3)				
歯科・口腔外科	午前	福士 宙之 戸谷 麻衣子	福士 宙之 戸谷 麻衣子	福士 宙之 戸谷 麻衣子	福士 宙之 戸谷 麻衣子 伊達 佑生	福士 宙之 戸谷 麻衣子	福士 宙之(第1.3.5) 戸谷 麻衣子(第2.4)
	午後	福士 宙之 戸谷 麻衣子	茂木 健司(第3) 宙之 戸谷 麻衣子		福士 宙之 戸谷 麻衣子 伊達 佑生	福士 宙之	

公益財団法人 老年病研究所附属病院

〒371-0847 群馬県前橋市大友町3-26-8 TEL 027-253-3311 (代表) FAX 027-252-7575 (代表)
 E-mail: info@ronenbyo.or.jp ホームページアドレス <http://www.ronenbyo.or.jp/>

地域医療福祉連携室・相談室

TEL 027-253-4108 FAX 027-253-4135